

アマダイ通信NO. 111

(Tile fish network letter)

2016年 桜の便り

知人・友人各位

ヨーロッパに続き、日本もゼロ金利に突入。資本主義経済は成長を前提とし、お金には成長に見合った利子が付く筈。成長せず、金利もつかないのは、資本主義の終焉か？他方AI(人工知能)が急速に進化、殆どの仕事は機械に置換わるという。人間は何をするのか？「機械」は誰のために働き、「機械」の対価は誰が支払うのか？富を寡占、対価を払える少数の人間のためだけに「機械」は働き、多数の人間は不要になるのか？食べるための「仕事」から解放され、人は生き生きと、己の欲するところに従い、「機械」の及ばぬ「創造」的仕事で人の役に立つ社会、予定調和の新天地を、「第4次産業革命」は実現出来るのか？

◎便潜血検査陽性？ラッキーですね！？

Mさん、●です。便潜血検査陽性だったんですね。大腸がんで出血しているのではないかも知れませんが、大腸がんであったとしても、ラッキーです。●も便潜血検査陽性で、精密検査が必要ですよと言われても、嘘だろう、間違いだろうと思い、4、5ヶ月放っておきました。保健所からもう一度催促が来て、ようやく内視鏡検査を受け、大腸がんが見つかりました。がんも今では治らない病気ではありません。最近の報道ではがん患者の5年生存率は50%を軽く越え、58%とのこと。5年以上前に治療された方の統計なので、医学の進歩でこれから治療する方の治癒率はもっと高くなる筈です。臓器によっては治癒率が低いがんもあるので、大腸がんだけなら治癒率はぐんと高くなります。検査で大腸がんであると判定されても、治癒率の高いがんだという点で、ラッキーです。

●の場合は開腹して盲腸も一緒に、患部の上行結腸を30センチ切り取りましたが、大腸は長くて、残り120センチもあるので、ギリギリ肛門近くで人工肛門をつけるのでなければ、機能的には何も変わりません。手術しても、日常生活に余り支障がないという意味でもラッキーです。便潜血検査が陽性でも、ポリープが出血しているだけなら、その時はポリープを切り取ればいいだけです。がん化する可能性のあるポリープでも、2年に1回くらい内視鏡で検査、都度切除すればがん化を防げます。早期発見、早期治療が大事です。患部の大腸を30センチ切除、切り取った周辺のリンパ腺9ヶ所中3ヶ所に転移していたステージⅢb「ほとんど治癒する見込みなし」(岩波新書「胃がんと大腸がん」)の大腸がんだった●は、みぞおちからへそ下まで30センチ開腹、大手術になりましたが、早期に発見すれば、開腹せず内視鏡で手術、ダメージを少なくすることも出来ます。

早期発見、早期治療が大事ですが、●は発見が遅れステージⅢb「ほとんど治癒する見込みなし」と診断されても生き永らえ、普通以上に元気な生活を続けています。がんと言われるとパニックに陥る方もいますが、末期のがんでも、今日、明日死ぬ訳ではありません。万が一、末期がんで打つ手がないとしても、先日、大阪駅前で血管の病気で車を暴走させ、多くの方を巻き添えにして、突然亡くなった方と違い、天命を知り、余生を楽しんで、誰に迷惑をかけるでもなく、人生を全う出来、ラッキーです。物事には全て裏表、陰と陽の二面があります。消極面だけ見て悲嘆に暮れ、免疫力を落とすか？積極面を評価、

明るく、前向きに生きるか？治癒率も違います。幸い●はほとんど治癒する見込みのない大腸がん(友人はがんもどきだと言います)から生還して14年、ゴルフは勿論、毎年冬は奥利根の雪山、宝台樹スキー場などで、仲間と何度もスキーと地料理、地酒を楽しみます。

◎古希からの起業！？・不動産業デビュー！

久し振り都庁へ。不動産業課で「宅地建物取引士」資格の変更登録。資格更新のための講習を受け、業界団体や保証協会に入会、保証金や入会金、年会費など初年度納入金140万円ほど納入、2ヶ月ほど経て不動産業デビューとなる。30年以上前、知り合いの不動産屋に頼まれ受験、眠っていた資格を活用、開業する。初期投資と10万円ほどの年会費、年3、4回の講習会の時間コストに見合うリターンがあるか？周りからは●ほどの人脈があれば大丈夫と太鼓判を押されるが、脱サラで大量の人間が新規開業、業界団体の講習会も大人気だが、起業しても、大部分は1、2年で蓄えを食い潰して廃業するという。

●が主に仲介する建築情報の大元は土地情報。活動分野を上流に広げ、効率的に、より多くの人の役に立ちたい。不動産業が不調でも取り敢えず困らない。その分、しゃかりきになれないから成功の確率も少ないか？余裕があるから上手く行くか？若さにまかせ、人生の全てをかけ、革命という最もロマンチックで、リスクな「起業」に挑み、見事挫折。20年間社会復帰出来なかった。あの疾風怒涛の日々に比べれば、全てのことが、驚くに値しない。これまでも何度か不動産業を！と思うが、お蔭様で、情報仲介・営業コンサル業でどうにか糊口をしのぐことが出来、踏み出さなかった。

幸い今般、食事つき、稼働率ほぼ100%という学生寮を全国に200棟ほど経営する店頭公開会社、毎日コムネットも応援することに。清潔で女性にも人気、シャワーや仮眠など、機能別、時間単位の利用も可能で好評、成田空港の倉庫を改造したホテルは170%の稼働率という、新しいカプセルホテルのベンチャー企業、ナインアワーズの顧問にもなる。土地を貸したり、売ってもよし、学生寮やカプセルホテルを建て、長期間賃貸してもいい。大都市圏で有休不動産の有効活用を考えている方は相談して欲しい。予て昵懇の中堅ゼネコンの大宮支店長に顧問先のメーカーの者と営業に行くと逆に、売りに出ている土地があるが買主を知りませんかという。近くで教室を持ち、新たに一棟建築中の、各種学校を200棟くらい運営する三幸学園は如何ですか？と言うと、是非紹介を！と応援する立場に。三幸学園に連絡すると仙台駅前に数棟教室を持っているが、近くにあるJRの関連会社の土地を譲って頂きもう一教室建てたい、JRにつないでくれと、双方から頼まれる。

三鷹寮の大先輩の高島さんが会長、能代高校同期の小野寺君が副会長をする住友不動産等のデベロッパー、JRやメトロ、私鉄、都市再生機構、役所等にも多少つながりがあり、色々な土地の仲介を頼まれることはこれまでもあったが、不発だった。昨年大手デベロッパーの野村不動産と顧問先の鉄鋼商社阪和興業をつなぎ、数万トン規模の鉄筋や鉄骨を、物流倉庫の建設工事等で使って頂く。打合せの席で阪和興業の担当者が、実は湾岸の物流倉庫が半分ほど要らなくなり土地を手放すのですがと話すと、トントン拍子に話が進み、野村不動産がその土地を買い取り野村ブランドの物流倉庫、ランドポートを建て、阪和興業は伊勢崎に新たな物流センターを造ることに。不動産業の看板も掲げ、「意識的に」不動産仲介も行き、より多く、効率的に皆さんのお役に立てればと思います。

◎2016. 1. 19

お手伝いする電源開発の井水利用専用水道システムの、大阪大学病院での採用が新しく決まり、建設中の東大病院の新病棟でも古井戸を活用して設置しませんかと、母校へ。文科省から出向の事務局長格の戸渡理事に新任の病院事務部長を紹介して貰う。

東大の管理部門は安田講堂の中にあったが、ここ暫く病院近くの龍岡門脇のビルの中であり、最近、改修工事が終わった安田講堂に移った。●が訪れた1月19日は、47年前のその日、前日から続いた安田講堂攻防戦、全国全共闘と国家権力との最終決戦の日。稚拙だったが、明治維新から続く日本革命、20世紀最後の日本の階級闘争の終わりの始まりの日。迂闊にもそのことを忘れていた。戸渡理事に、しかも新装なった安田講堂、まさに当のその現場で指摘され、漸くその日の光景が脳裏に蘇る。●を駒場に残して本郷に進学、勉学に勤しんでいた筈の、昭和41年入学文科I類中国語クラスの同級生23人中の3人をはじめとした大学の仲間達、全国から駆けつけた学生、労働者の仲間達。手錠をかけられ、腰縄で結ばれ、裁きの場へ引かれて行った。定めとは言え、勝者が敗者を裁き、勝者の歴史が後世に残る。●にとって決して忘れてはいけない日、もう一つの歴史。

電源開発のリスクと資金で深井戸を整備、井水を膜濾過で高度処理、浄水を安く供給、水源を二重化して、事業継続性を高める。既設の設備で年間3千万円水道代を節約、3.11の時、金町浄水場の水がセシウムで汚染されていると騒ぎになった際、小児科と産科病棟の水は井水だけで賄った。白金の医化学研究所の井戸も改修、浄化設備を設け、浄水を供給、水道代を年間1千万円節約。併せて年間4千万円、母校に寄付していると嘯く●だが、もう一つある古井戸を活用、病棟2期でも母校に貢献したい。

安田講堂の階段を踏みしめる。鮮やかに蘇る青春の日々。全てが新しくなっているのに、そこだけが昔のまま。変わるものと、変わらぬものと。歴史は去り、そして巡る。占拠した講堂の中で発見された大量のコンドーム、「突撃一番」。手渡す者、受け取る者、学舎でなに思う。「聖戦」の火蓋は切られ、抗うは「非国民」。火蓋切ったは誰？大陸の西では張本人は自らの頭にピストルを発す。どこかの国では自決も出来ず、新型爆弾2発を臣下の国民にプレゼント。末裔は平和の守護神の如く。その療屋に●は浄水を送る。

◎CO₂は悪者か？・・不都合な真実

成人の日の3連休、初日は家で仕事、月島のプールで千m初泳ぎ。図書館で経済誌を読む。中日は小川カントリーで仲間とワイワイゴルフ。最終日は一人新幹線で越後湯沢へ。駅前の新橋亭で美味しいへぎ蕎麦と地酒を味わい、シャトルバスでGALAへ。圧雪済みの全コースを制覇、最後の2キロ半のロング下山コースに挑戦！と思うが、雪不足で滑走禁止。それがようやくシーズン3回目のスキー。東京の今年の正月の最高気温は全部10度以上で、56年振りとの報道。地球温暖化のせいだ！CO₂を減らさなきゃ！という声が出そうだが、東京一極集中が今ほどでなく、電化もモータリゼーションも進まず、ヒートアイランド化もそれほどでなかった時代の気温によりやく並んだということで、人間の活動と気温の上下は余り関係ない、黒点などの太陽の活動に左右されるという証左ではないか！

新年早々、東南アジアから油分に富むパーム椰子殻を輸入、間伐材や木屑利用のバイオマス発電の補助燃料として供給、バイオマス発電にも関わる顧問先の阪和興業の営業マンからメール。「一昨日の富士山は山頂の岩稜がむき出しになっているくらい雪が少なく、

この夏の水不足は大丈夫かと心配になりました。バイオマス発電と称し、大量の木々を燃焼させ、一時的にCO₂を大量に排出する事業に加担している者として、複雑な心境です。」と。確かに日本では温暖化CO₂犯人説は人口に膾炙するが、怪しい説だ。今は氷で覆われているグリーンランドにバイキングが定住し始めた11世紀(化石燃料を使い始めた産業革命以前)に島の南部は緑に覆われ、海氷も少なく、今は永久凍土で覆われるシベリアに草食のマンモスが繁栄していた。それらの時代の方が今よりずっと温暖だった。人間の活動と関係なく地球は温暖化と寒冷化を繰り返し、全球氷結した時期もある。多分人間にとっては温暖化よりも、寒冷化の方がより深刻な問題だ。そして地球の気候にとって影響の大きいのは黒点などの太陽の活動で、温暖化よりも、寒冷化を心配する学者が増えている。

ヨーロッパ旅行でシベリア上空を通過する時、地球が温暖化してシベリアの氷が融けると、この白い大平原が緑の沃野になる！とか、広大で無人、灯りひとつ見えないカナディアンロッキーの上空を通過する月明かりの夜も、同じような感慨を感じる。CO₂削減は貴重な化石資源を無駄遣いしない、エネルギーは自然エネルギーを優先、有限な化石資源はプラスチック原料などとして優先使用すべきということの言い替えと捉えるべきか？万々がCO₂が温暖化の原因だとしても、一番の対策は草木を増やしてCO₂を吸収、木材や食糧として有効利用することだ。植物の炭酸同化作用(光合成)でCO₂を固定、食物として体内に取り入れられない限り、人間、それに全ての動物も生きていけない。原始大気の多くを占めた炭酸ガスだが、植物がせっせと光合成でCO₂を炭水化物と酸素に換えた結果、現在大気に占める割合はほんの0.04%。そして人間は身体とエネルギーの源としての食糧と、呼吸のための酸素を得て、地球上で活動出来る。そんな大事なCO₂をなぜ悪者にするのか？

三鷹寮の先輩の深井有中大名誉教授の「地球はもう温暖化していない」(平凡社新書)を読まれると、あなたの罪の意識は払拭されます。とりわけ、原生林と違って人間が利用し、再生産して来た二次林は、人間の手が入らないと荒廃し、災害の原因ともなります。無駄に捨てられている森林資源をバイオマス発電に有効利用するのは有意義なことです！

のオーストラリア紀行Ⅱ・・

(‘15.8.8 ~14、クラブツーリズム「オーストラリアの休日7日間」)

④土蚩と天空の蚩

車社会のオーストラリアだが、人と車が増えれば交通渋滞もひどくなる。昨年新交通機関トラムが導入された。昼食はレストランでステーキサンド。細切りのパンの間に豚カツが挟まれた、日本のいわゆるカツサンドを想像したのだが、二枚の食パンの間にハンバーガーの代わりにステーキを挟む。最近立ち食い蕎麦や牛丼は食べてもハンバーガーは食べない。ましてハンバーガーより硬いステーキバーガーを如何に食べるか？取り敢えず上顎と下顎に四角いパンごとステーキを挟み食い千切ろうとするが、中のステーキが、おちよぼ口のジャップ如きに食べられてたまるかと、逃げる。逃げた女を追いかけるかのように先回り？反対側を口元に、はみ出して逃げたステーキにかぶり付くが、簡単に噛みきられてたまるかと又、頑なに頑張るOZビーフ。9豪ドル(1豪ドル100円)の地ビール、XXXX(4X)ビール570mlとトマトケチャップ厚塗りのポテトチップスを援軍に、益々頑なになるOZビーフをどうにか平らげ、暖かいコーヒーで我が老齒の奮闘を労う。

投宿先の、その名もサーファーズパラダイスホテルの脇を黄色の2連の車体がスマートに走る。トラムのレールを横切り、高層ホテル、マンションの間を抜け、サンダル履きでサーファーズパラダイスビーチへ。薄いベージュ色の砂が歩くと時々キュッ、キュッと鳴く。貝殻も海藻も、珊瑚のかけらも殆どない綺麗な砂の浜辺に高層のビル群が遥かに続き、寄せては引く白浪の波乗りを楽しむサーファー達。有機物の供給が少なく、それを餌とする微生物や海藻、それを又、餌とする小魚や貝、海生生物が少ない、生産性の低い海ということだが、蒼く綺麗に澄んだ海はマリンスポーツに最適。帰り、リカーショップに寄りビールを品定め。サントリーマグナムドライロング缶を4ドル80セントで買う。夕食まで時間がある。缶詰の蓋を開けビールを飲む。鯧の昆布巻きが美味しい。コンビニやスーパーにはアルコールはなく、WBSと表示のあるリカーショップで扱うだけ。Wはウイスキー、Bはビール、Sはスピリッツ。かつて日本でもアルコールは酒屋の専売で、販売店間の距離など、厳しい制限があった。制限が無くなると、多くの酒屋がコンビニなどに転換、コンビニでもスーパーでも、ゴルフ場の自販機でも売られるようになった。販売制限がなくなってアルコール中毒が増えたという話も聞かないが、オーストラリアでは酒類販売免許を取るのにはコストが高く、個人経営の小さなレストランではお酒は販売せず、持ち込み料50ドルで、持ち込み自由だという。クーラー一杯に酒を詰め込んでレストランに行く輩もいるという。飲酒運転の制限も日本ほど厳しくない。この国の人達は大いに食べ、大いに飲み、国の大きさと同じように大きく成長してしまう善男善女が多い。機内への荷物持ち込みも、通常は20キロなのに、カンタス航空は30キロだ。

8月はオーストラリアは冬、陽が沈むのも早い。郊外の国立公園の原生林の中の洞窟に土蚩を見に行く。途中で夕食に立ち寄ったレストランはなんとゴルフ場のクラブハウスの中。運河と住宅、ショッピングモール、ゴルフ場が一体開発され、近くの住民でレストランは満杯だ。住民も便利、ゴルフ場も収益が上がり、お互いハッピー。メンバーは照明されたコースをライトをつけたカートで回り、最終ホールのグリーン上のプレーを眺めながら、客は料理を楽しむ。ここでも飲み物はバーカウンターで現金引き換え。人件費が高いので、フロア係を減らし、セミセルフサービスにしている。この国ではマクドナルドのアルバイトの時給が1600円、アパートの部屋代も週6万円ほどで、狭い部屋がないので、何人かでシェアして住む。アメリカの草履ステーキほど大きくないが、厚く硬目のステーキとサラダを肴に、各一杯に7豪ドルずつ払い、地ビール、白ワインを楽しむ。

いよいよ土蚩 what? の旅。人家も少ない暗い夜道を世界遺産ナチュラルブリッジ公園へ。入口の駐車場に着くと、車上荒らしが多いので荷物を持って出て下さいと、現地日本人ガイド。移民も多い多民族国家で、最近の資源価格の下落などもあり、景気が悪く、失業率も高いので、多少治安が悪いのか? 現地ガイドに日本人が多いのはそれだけオーストラリア在住の日本人が多いからか。最初のガイドは高卒で日産0Bの元自動車修理工、一人は大学で量子力学専攻の旅行会社のシステムエンジニアで、繁忙期にガイドをするという。シドニーの女性ガイドは高校生の時にニュージーランドに交換留学、ニュージーランド人と知合い結婚、賑やかなオーストラリアに憧れ夫婦で移住して30年、23才の独立した娘と20才の学生のお嬢さんがいるという。25人を3班に分けた土蚩探検班のガイドの1人は金髪のベテラン男性だったが、若い男女はジャパニーズだった。小さな懐中電灯の灯を頼りに太古の昔そのままの原生林の木道をかれこれ2、30分、所々ガイドが指し示す地面に、

不思議な白い光の集団。最後にたどり着いた洞窟の天井一面が、白く怪しく光る。生息するハエの一種が粘着性の体液で何本もの棒をたらし、蜘蛛がその網で他の昆虫を捕らえるように、棒にくっついた虫を捕らえて食べ、その糞が発酵して光る。夏場気温と湿度が高くなり、ハエの活動が活発になるともっときれいに光るといふ。帰り道、何も無い野原にバスを止め、星空観察。おびただしい数の蛍が宇宙に浮かび、小さな無数の光が天の川を、大きな5つの蛍が南十字星を形づくり、オリオン座やさそり座をつくる蛍もいる。

⑤水害！？

3日目の朝、海から昇る太陽を見ようと早起き、再度浜辺へ。水平線近くに雲が低くたれ込めるが、水平線の上の雲のさらに上から、周りを茜色に染めて太陽がゆっくりと昇る。金色に光る海に影絵のように浮かぶサーファーとヨット。ホテルに戻って、バイキングの朝食。スクランブルエッグ、ベーコン、ソーセージ、パン、シリアル、サラダ、果物の他に味噌汁とご飯。ご飯はパサパサ、味噌汁をすすする。嬉しい。食後、ホテルの向かいの230mと南半球で一番高い、サーファーズパラダイスを一望するQ1タワーに昇る。下層は昨日ビールを買ったWBSなども入る店舗、上層階はマンションの、77階にある、食事も出来るスカイポイントデッキからの360度の眺望は素晴らしい。東には光る海が眩しく広がり、西には縦横に走るクリーク沿いに濃い緑の中の邸宅が南北に何処までも続き、防波堤の様に屹立するビルが両者を隔てる。世界の金持ちが買い求める美しい部分しか目には映らない。金満生活を支える縁の下は見えない。

再びバスでブリスベンに移動、空港でそれぞれ食事、カリフォルニアロール(アボガド巻)など3本の太巻10ドルと地ビール7ドルを楽しみ、空路ケアンズへ。2時間半弱の国内線の機内でもお菓子のような軽食。地ビールと白ワインも楽しむ。2連泊となる海辺のホテルへバスで移動。イギリス領だった名残でオーストラリアでは車は左、人は右側通行、左ハンドル車は走れない。交差点には信号がなく、ラン・ナバウトと言うロータリー状の交差点の真ん中に円状の障害物があり、直進できない。ロータリーは右側優先で、右側つまり先にラン・ナバウトに入った車が優先するが、横断歩道もなく、歩行者は渡りにくい。

夕食まで時間がある。浜辺のリゾートホテルで一風呂浴びて着替え、砂浜を散策しようとバスタブにお湯を落としたまま、3冊目のオーストラリア本「ワンダフル★オーストラリア」(松浦直裕、鳥影社)を読み始める。気がつくと、お湯がバスタブから溢れ、浴室の床から、居室に流れ込んでいる。慌ててクロークへ飛び古いバスタオルを5、6枚貰って水を拭き取る。ホテルの人間は拭くのを手伝うどころか、罰金80ドル払えという。大昔、フィリピンのネグロス島のリゾートホテルでもバスタブから溢れ出たお湯が部屋中に溢れ、2階のベランダから滝のように音を立てて落ちていたことがある。部屋を替えてくれて、従業員が後処理をしてくれた。大体浴槽にオーバーフロー防止の排水口もなく、浴室と居室の間に敷居どころか、見切りもない。居室の方が浴室より一段と低く、オーバーフローしたらどこまでも流れるのはホテルの構造としては欠陥だ。まして責任を客に転嫁、罰金を請求するなど言語道断、闘争心に火がつく。ホテルも決まりだからと譲らない。客は保険でカバーすればいいと考えているのだろう、だから保険料が高くなる。困ったクラブツウリズムが間に入り、金は取り敢えずクラツウが払い、最終解決は後日ということに。

カモメ舞う浜辺を歩く。波洗う緑の草叢、頭を出し伸びるマングローブの若木が数本。

海中から生えるマングローブの林は近くに見えない。どこからか流れついたので。別の海中の叢には5,6羽のペリカンが人を気にせず寝そべっている。砂浜に沿って遊歩道があり、車道との間の林は公園になっている。一角に古い高射砲が据えつけられ、銘板が貼り付けられた石碑と軍服姿の等身大の銅像が立つ。オーストラリアは大英帝国の一員として、ボア戦争では南ア、露土戦争ではトルコに兵隊を派遣、両大戦ではニュージーランドと共に、連合国の一員として参戦、先の大戦では日本軍に攻めこまれ、双方に大きな犠牲を出した。今はオーストラリアを侵略した唯一の国日本と、中国を仮想敵国として手を組むオーストラリアであるが、アジアが再び戦場になることの無いように、仮想敵国という概念がこの地上から無くなることを願い、祈りを捧げる。夕食は近くのホテルのレストランでシーフードバイキング。海老やカニと骨付きラムが美味しい。(続く)

「堺市政あれこれ…世界文化遺産登録など」・・・東大三鷹クラブ第125回定例懇談会

田村恒一氏(昭和38年入寮)は工学部都市工学科を卒業、大阪府庁に入庁し知事部局を歴任ののち、平成13年に議会答弁の矢面に立つ「ひな壇部長」として土木部長に就任。大阪府庁を退職後は、阪神高速道路(株)常務取締役や大阪府土地開発公社理事長などを経て、平成21年12月から府庁で元同僚であった竹山堺市長の要請により堺市副市長就任。盟友である竹山市長の最強の右腕として各方面で活躍中である。

私が田村さんと出会ったのは、三鷹寮入寮の時。東寮の隙間だらけの自習室で初めてお目にかかる。福岡県の炭鉱の町からおっとり刀で東京に出てきた田舎者の私には、シティボーイの雰囲気一杯で眉目秀麗の先輩がとても眩しかった。その当時私は、田村さんの母校甲陽学院が兵庫県下有数の私学進学校であることも、ご自宅の西宮市仁川が阪急今津線沿線(有川浩の小説「阪急電車」で最近有名になった)の高級住宅地であることなども何も知らなかった(今ならわかる)のだが、きりっとした風貌に似ず柔らかで上品な関西アクセント、理科のはずなのに卓越した文学的才能、また達筆さなどに驚いたものだ。その後半年ばかり、部屋替えの時期まで何かとお世話になった。

本郷に移ったある日、ばったりと田村さんにお会いすることがあり、大阪府庁に就職するとのこと。そのときは少し違和感を覚えたのだが、今にしてみると、深い考えをお持ちのうえでの選択だったのだと納得できる。

私もその後思いがけず関西に就職することになり、同じ大阪在住ということですと気にはなっていたが、なかなか再会のチャンスがなく、平成13年ごろ、私の関電での最後の職場にいたときに大阪府土木部長田村恒一氏への表敬訪問の機会がやっと訪れた。学生時代以来の面談であったが、学生時代と全く変わらず漢詩を口ずさむ硬派の田村さんがそこにいた。とても懐かしかった。

定例懇談会では、田村さんの豊富な行政経験を通じ、標題のみにとどまらず大阪の街づくりや統治機構改革(都構想?)などいろいろな角度からの骨っぽい話が聞けるのではないだろうか。期待しています。(昭和39年入寮 有馬 久紹 記)

日時：平成28年3月23日(水) 18時30分～21時(開場 18時)

場所：中央電気倶楽部本館214号(大阪市北区堂島浜2-1-25、電話 06-6345-6351(代))

会費：5000円(会場費、夕食代・飲み物代、通信費など込み)、別途二次会予定。

申込先：平賀・干場 FAX 03-5689-8192 Email: tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp

◎講演会、二次会に、現役寮生が久し振り参加！

★本日は、大変お世話になりました。美味しいご飯と講演会（生源寺東大名誉教授「TPPと日本の農業政策」）、とても良い時間を過ごせました。さて、カンパの方ですが、36800円となりました。今後の三鷹宿舎生の交流会に役立たせて頂きます。ありがとうございました。来週の顔合わせも楽しみにしております。 文科三類一年 MSC 委員長 高田夏輝

★高田君、干場です。楽しんで貰えた上に、カンパも集まって良かった。このところ、現役寮生諸君との交流が薄れて来て、心配してたところですよ。去年は流れた二年生の追い出しコンパも復活するということで何よりです。新入生歓迎会も頑張ってください！

来週の久しぶりの🍀事務所コンパには、06年入寮でIT関係で起業、遠隔医療のベンチャーの立ち上げに尽力している委員長経験者の岡本君や、名古屋で予備校の先生をする院生の大橋君、院生会の長濱幹事長、中国留学から帰ったばかりの北條君も参加します。留学生の皆さんも含め、声をかけて下さい！素敵な交流の輪を広げましょう！

◎懇親会（🍀事務所コンパ）のお礼

辰さん、干場さん、勝部さん、東京大学大学院の大島です。先日は懇親会にお誘いいただいたありがとうございます。ご馳走様でした。

こちらで海外ジャーナルに情報科学関係の論文を発表後、名古屋へ出発します。さなるグループは、進学塾ではなく教育塾という看板を掲げており、真の「エリート」養成を目標としている塾ですので興味を持ちました。東大での6年間自分の感じていた問題点と一番接点があったのでこちらに入社することにしました。干場さん、三鷹のOB会に入りたいので案内お願ひできますか。入会金は3月4日までなら事務所に持参することも可能です。

辰さん、今までの発言が口だけに終わらないようにこれからも勉強して行動します。リベラル側の意見も積極的に理解に努め、複眼的な視点で物事を把握するようにしていますので自分の右翼思想についても自分自身できちんとチェックを入れていますので原理主義に走るご心配は不要です。勝部さん、勝部さんとは三鷹寮時代にお会いしたことがあり、私は存じておりましたが今回初めてお話しすることができました。経済のお話し面白かったです。ありがとうございました。また、お目にかかる機会を楽しみにしております。

出席者は大島 康彰(2010・理I→工学系研究科 システム創成学専攻・福岡・福岡大学附属大濠)、長濱 章仁(2015(院)・京都大学→工学系研究科 先端学際工学専攻 先端科学技術研究センター・大阪・明星)、北條 新之介(2015(院)・東北大学→総合文化研究科 地域文化研究専攻 アジア科 中国・栃木・真岡)、島田 了輔(2015・文III・高知・追手前)、高田 夏輝(2015・文III・愛知・岡崎)、横字 史年(2015・文III・愛知・岡崎)、岡本 和也(2006)、辰 紘(1965)、中村 英(1967)、井上 豊(1968)、勝部 日出男(1968)

◎同期会で医療情報を交換！？（結びに代えて）

2月初旬、新宿住友三角ビルの住友不動産直営の居酒屋どんとで、能代高校東京同期会新年会。年末の千葉の住不の泉カントリーでの同期会ゴルフ。年来の脊椎狭窄症で鎮痛剤を飲み、顔をしかめながらプレーしていたT君が、その直後内視鏡で手術、痛みが消えた、にこやかな笑顔。Yさんも長年痛みを耐えていた股関節を人工関節に換えたばかりと、杖を片手にカミングアウト。病気談義で盛り上がる。医学の進歩は目覚ましい。(再見！)